

「日々の理科」(第1381号) 2018 (H30), -4, 18
「目指せコンプリート! 春の野草探し(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

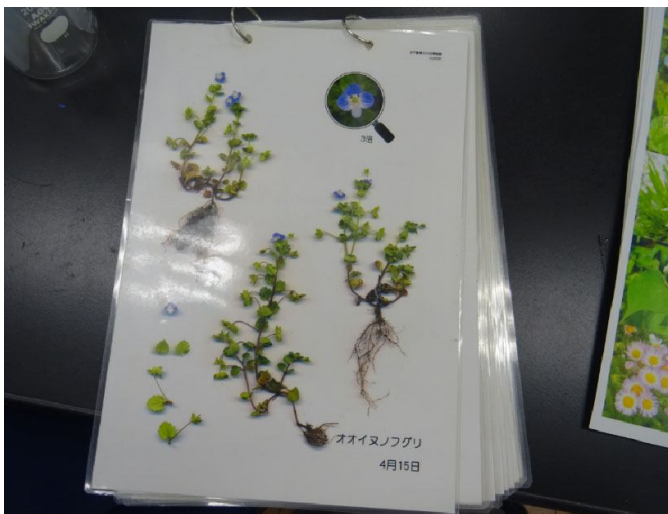
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「春の野草探し」では、野草を同定する上で、案内書を利用した。ラミネートされた春の野草の写真を、リングで綴じた簡単なものである。これを班に一冊ずつ持たせて、大学構内に出かけた。



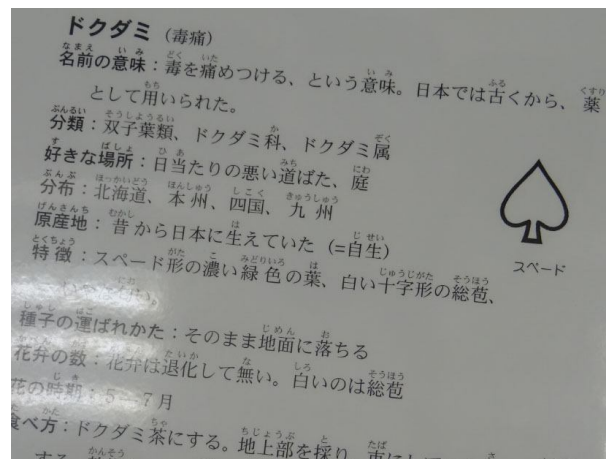
野外ではこのように使用する。各ページはラミネートされているので、しわになったり水分や土の汚れが残ることもない。使い始めてから何年も経つが、劣化はほとんど見られず、毎年複数の学年が使っている。また、十年やそこらでは植物は進化しないので、内容の改訂も不要である。



この「案内書」は、千葉県立中央博物館が制作したものを入手した。写真はまるで本物のような立体感があるが、これは植物の実物をスキャナーで撮影したものである。



これは、ラミネート資料を拡大した画像だが、まるで紙の上に本物の植物が置いてあるようなリアルさである。植物の質感まで感じられ、野外で実際の植物を同定するには、非常に適した案内書だと思う。



裏面には詳しい形態や生態が書いてある。写真だけでも十分に同定できるが、この解説を一生懸命に読む子どもも結構多い。



子どもたちは時折、班ごとに集まって、地面の植物と案内書を比較しながら活動していた。ただ植物名を覚えるのではなく、生きている植物を同定する営みは、子どもたちにとって貴重な体験だと思う。